

高大接続改革の実現に向けた基本的な考え方と主な課題について

1. 高大接続改革の実現に向けた基本的な考え方

- これからの時代に社会に出て、国の内外で仕事をし、人生を築いていくためには、一人一人が十分な「知識・技能」に加え、「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」や「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を身に付けることが必要。
- このためには、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革が必要。その観点から、高等学校における学習・指導方法の充実や学習指導要領の見直し、大学教育の質的転換や認証評価制度の改革、個別選抜（各大学が個別に行う入学者選抜をいう。）の改革の推進、多様な学習活動・学習成果の評価、高等学校基礎学力テスト（仮称）及び「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の実施、「公平性」をめぐる意識改革等が連動する「システム改革」の実現に取り組む。

2. 高大接続改革の実現に向けた主な課題

I 高等学校教育改革

- 課題の発見と解決に向けた生徒の主体的・協働的な学びの推進
- 高等学校教員の養成・採用・研修 ※中教審教員養成部会において審議中
- 多様な学習活動・学習成果の評価<後掲>
- 学習指導要領の見直し ※中教審教育課程企画特別部会において審議中
- 「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の導入<後掲>

II 大学教育改革

- 大学教育の質的転換と、その支援の在り方（学長を補佐する体制の充実、アクティブラーニングの導入等）
- アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の一体的な策定の義務付け等を通じた大学教育の質の向上
※中教審大学教育部会において審議中
- 認証評価制度における学修成果や内部質保証の評価
※中教審大学教育部会において審議中

III 個別選抜の改革の推進方策

- アドミッション・ポリシーの一層の明確化
- 「多面的・総合的な評価」として求められる選抜の在り方
- 個別選抜の試験問題の改善（より深い思考力・判断力・表現力等を問う問題への転換等）の促進方策
- アドミッション・オフィスの整備・強化の在り方
- 個別選抜の改革を行う大学への財政措置等の在り方

IV 多様な学習成果・学習活動の評価

- 生徒の多様な学習成果や学習活動を評価を反映するための調査書や指導要録等の在り方

V 新テスト

1. 「高等学校基礎学力テスト（仮称）」について

(1) 対象教科・科目、作問等の在り方

- 対象教科・科目、出題範囲設定の在り方（英語については、四技能（読む・聞く・書く・話す）を問う試験を旨とするための方策）
- 求められる作問のイメージの明確化
- 難易度の設定の在り方（多様な生徒が高等学校に進学している中で、基礎的な学習達成度を把握するとともに、高難度から低難度まで広範囲を測定することをふまえた在り方）

(2) CBT導入の在り方、テストの実施回数等の設計の在り方

- 複数回かつ広範囲の難易度を実現するための CBT の導入方法や問題の蓄積方法
- 記述式導入の方策、効率的な採点方法

(3) 試験実施方法（実施場所・回数、時期等）・実施体制

(4) 成績表示等の在り方

(5) 評価の活用方策

- 指導改善への活用方策
- 進学・就職時における活用方策の在り方

(6) 高等学校卒業程度認定試験との関係についての整理

2. 「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」について

(1) 対象教科・科目、作問等の在り方

- 対象教科・科目、「教科型」「合教科・科目型」「総合型」に関する具体的枠組み（英語については、四技能（読む・聞く・書く・話す）を問う試験を旨とするための方策）
- 求められる作問のイメージの明確化（特に思考力・判断力・表現力等を問う問題）
- 難易度の設定の在り方（共通テストとしての役割や選抜性の高い大学における活用等を踏まえた在り方）

(2) CBT方式の導入の在り方、テストの実施回数・時期等の設計の在り方

- 複数回かつ広範囲の難易度を実現するための CBT 方式の導入方法や問題の蓄積方法
- 記述式問題の導入方策、効率的な採点方法

(3) 成績表示等の在り方